

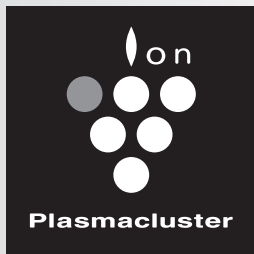
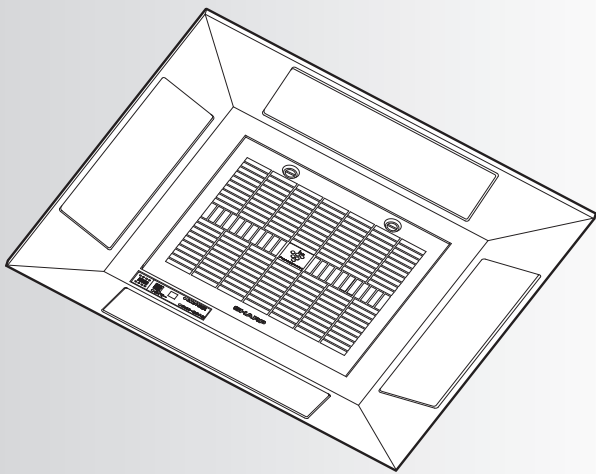
SHARP®

天井埋込型
プラズマクラスターイオン発生機
(屋内用・天井埋込型)

工事説明書

形名
アイ ジー ビー エイ エックス

IG-3B35AX



高濃度
プラズマクラスター 25000 *

この製品の性能・機能を十分に発揮させて、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。

据付工事前にこの工事説明書を必ずお読みください。

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この工事説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

* 当技術マークの数字は、この商品を適用床面積の部屋の天井中央に配置して、「標準」運転・ルーバーの角度が天井に対して45°のときに天井に沿って吹き出し方向に1.5m、天井より距離1.5mの地点で測定した、空中に吹き出される1cm³当たりのイオン個数の目安です。



プラズマクラスターロゴおよび
プラズマクラスター、Plasmacluster は、
シャープ株式会社の登録商標です。

もくじ

ページ

ご使用前に

- 安全上のご注意 2
- 安全使用に関する重要な内容です
本体付属品、および別売品 4

使いかた

- ① 設置基準 5
- ② 据付場所の選定 6
- ③ 据付図 7
- ④ 製品寸法図 7
- ⑤ 据付場所の準備 8
- ⑥ 吊りボルトの設置 9
- ⑦ イオン発生機の据付工事のしかた 10
- ⑧ 試運転 16
- ⑨ チェックシート 17
- ⑩ 引き渡し 裏表紙

リモコンは別売品となっています。商品进行操作するため、必ず1台以上のリモコンを準備してください。

お客様へ

- この製品の施工には電気工事士の資格が必要です。取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ

- 工事が終了しましたら、本工事説明書をお客様へお渡しください。なお(同梱の)取扱説明書、および保証書・付属品も必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。



警告

感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐ。



- 改造したり、部品を変更して使うことは絶対しない
- 工事、修理のとき以外は分解しない
落下、感電、火災の原因。
- 防湿型ではないので、湯気、湿気の多い場所では使用しない
湯気の浸入による絶縁不良、感電の原因。
- 送り配線は同じ機器を接続するときのみ使用し、他の機器には使用しない
- 機器の送り容量は13Aです
容量を超えると発熱、火災の原因。
- 機器に他の荷重をかけない
落下、感電、焼損の原因。
- 交流200V以外では使わない
電源周波数は50Hz、60Hz共用です。間違っても使用すると短寿命、火災の原因。



- 据え付けは、お買いあげの販売店、または専門業者に依頼する
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、落下や感電、火災の原因。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品、および指定の部品を使用する
当社指定部品を使用しないと、落下、水漏れや、火災、感電の原因。
- 据え付けは、重量(約26kg)に十分に耐える所に確実におこなう
強度の不十分な所や取り付けが不完全な場合は、落下などにより、けがの原因。
- 電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する
電源回路容量不足や施工不備があると火災、感電の原因。
- 配線は、コード押さえが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取り付ける
不備があると、ほこりや水などにより端子接続部の発熱で火災や感電の原因。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事をおこなう
据え付け工事に不備があると、転倒などによる事故の原因。
- 据え付け工事は、この工事説明書に従って確実におこなう
据え付け工事に不備があると、落下、感電、火災の原因。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災や感電の原因。
- アース工事をおこなう アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない
アース工事に不備があると、感電の原因。
- 据え付け工事は必ず二人以上でおこなう
思わぬ事故の原因。
- 据え付け工事前には、必ず電源を遮断する
感電、火災の原因。
- 据え付け工事は不安定な足場で作業しない
転落や落下によるけがの原因。
- 電源コードや本体を濡れた手で触れない
感電、故障の原因。
- 電源電線や接続電線をはさんだり、ネジなどで傷付けない
電源電線や接続電線が傷付くと、火災、感電の原因。
- 電源電線は必ず単線を使用する
電源供給ができず動作不良の原因。

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。



注意

「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



してはいけないこと。



しなければならないこと。



注意

感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐ。



● **本製品は屋内用です。次の場所には設置しない**

- 直射日光が当たる場所。
- 水がかかったり湯気が当たるなどの場所。
- 食用油など油成分が浮遊している場所。
- 激しい振動のある場所。
- 可燃性／爆発性ガスがある場所。
- 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリなど、機器に影響する物質の発生する場所。
- フッ素樹脂やシリコンを配合したスプレーや化学薬品を使う場所。
- 据え付け下に、濡れては困るものがある場所。(高湿度環境のときに、露が滴下し損害が生じるおそれがあります)
- ドア、または窓の近くで高湿度の外気と接するおそれのある場所。(結露するおそれがあります)
- 天井下面が傾いている場所。

● **吸入口や吹出口をものでふさがない**

故障、破損の原因。

● **プレフィルターをはずして使わない**

製品内部に異物が入り、火災、感電、故障の原因。

● **本製品に貼ってあるラベルは、絶対に剥がさない**

誤使用や事故の原因。

ご注意

● **プラズマクラスターイオン発生機の近くでは、フッ素樹脂やシリコンを配合した化粧品など※は使わない。**

※ ヘアケア商品(枝毛コート液・ヘアムース・ヘアトリートメントなど)、化粧品、制汗剤、静電気防止剤、防水スプレー、つや出し剤、ガラスクリーナー、化学ぞうきん、ワックスなど。

本体内部にフッ素樹脂やシリコンが付着し、プラズマクラスターイオンが発生しなくなることがあります。その場合、ユニット電極部のお手入れをしてください。

- **室内と天井内の温度差が大きく高湿度になる場所に設置すると、本体の外表面に結露し滴下することがあります。**



● **ボルトやネジは、確実に締め付ける**

変形、破損、落下の原因。

● **試運転で異常や異音が発生したときは、直ちに運転を中止する**

火災、感電、故障の原因。

● **高所作業の際、安全帯の着用や安全な足場の使用など転落防止対策を実施する**

転落や落下によるけがの原因。

● **手袋を着用し工事をおこなう**

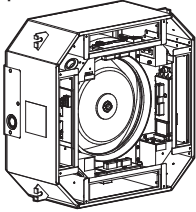

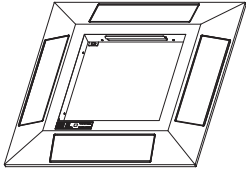
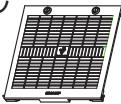
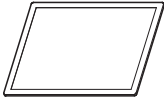

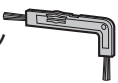
けがの原因。

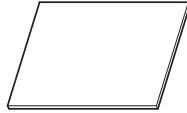

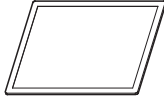





● **本製品は決められた使用条件(周囲温度0℃～35℃)で使用する**

火災、故障、破損の原因。

本体付属品、および別売品

据え付け前に付属部品を確認してください

本体付属品		
部品名	個数	備考
① 本体 	1	
② 結束バンド 	1	電源線の固定用本体の電源カバー内に付属
③ 化粧パネル 	1	※塗装が剥がれないように取り扱い注意
④ 点検パネル 	1	※塗装が剥がれないように取り扱い注意
⑤ プレフィルター 	1	点検パネルに取り付け済
⑥ なべ小ネジ M4×25 (バネ座金・平座金付き) 	10	化粧パネル取り付け用10本
⑦ ユニット 清掃ブラシ 	1	
⑧ 据付型紙	1	590mm×590mm
⑨ 取扱説明書	1	
⑩ 工事説明書	1	
⑪ 保証書	1	
⑫ 断熱材	4	吊り金具部用

別売品		
部品名	個数	形名
① 脱臭フィルター (生活臭用) 	1	IZ-F2B35B
② 脱臭フィルター (たばこ臭用) 	1	IZ-F2B35C
③ プレフィルター 	1	IZ-F2B35A
④ 交換用プラズマクラスターイオン発生ユニット(4個入) 	1	IZ-C75B4X
⑤ リモコン 	1	IZ-BRC1
⑥ リモコンホルダー 	1	
⑦ ホルダーネジ  リモコンホルダー 固定用ネジ	2	
⑧ 電池 単4形乾電池 (お試し用) 	2	

現地手配部品

- ① 吊りボルト、およびナット、平座金
(吊りボルトはM10、またはW3/8)
- ② 電源電線

- ③ 壁スイッチ
(壁スイッチを設けることをおすすめします)

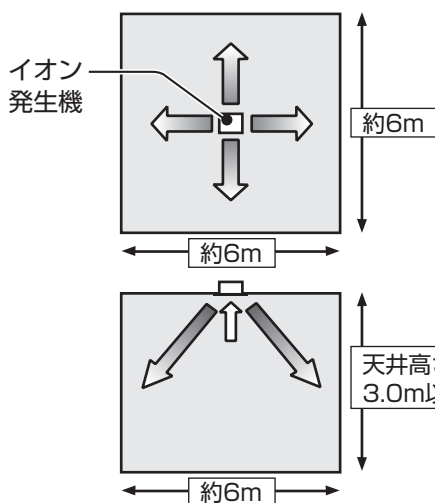


1 設置基準

本製品の適用床面積は約35m²(約21畳)です。化粧パネルの中央より室内の空気を吸い込み、4方向にイオンを吹き出す構造となっています。
イオンが拡散しやすいように極力部屋の中央に設置してください。設置位置から離れるほどイオン到達距離が減少し、効果を発揮できなくなります。

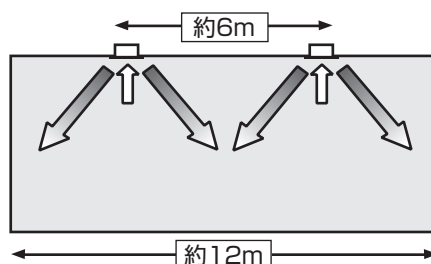
プラズマクラスターイオン到達範囲

適用床面積：約35m²(約21畳)、
天井高さ(～3.0m)

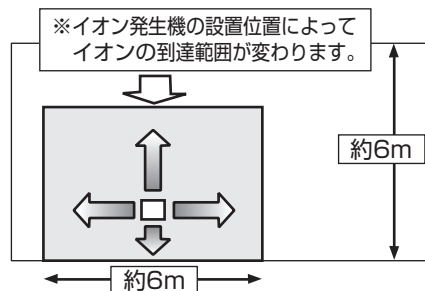


※それぞれの実際のイオン個数やイオンが届く範囲、付着臭低減効果や浄化効果は、お部屋の状況や使いかたによって異なります。

●プラズマクラスターイオン発生機を複数台使用することでイオン到達範囲を広げることができます。

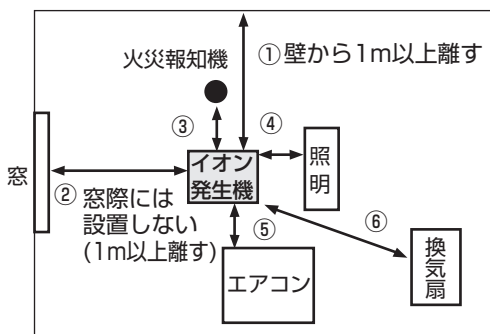


●プラズマクラスターイオン発生機は約6m×約6mの範囲をカバーしますが、壁際に設置されるとイオンの到達範囲が変わります。

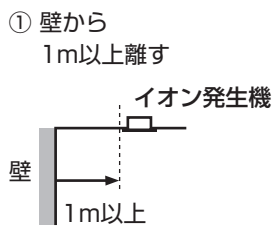


プラズマクラスターイオン発生機の設置条件

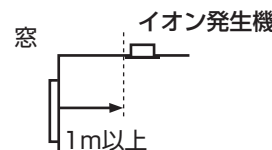
イオンが拡散しやすいように極力部屋の中央付近に設置してください。



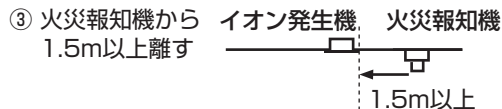
※スプリンクラーなどの設備が設置されている場合の設置条件については、所轄の消防署にご相談ください。



① 壁から
1m以上離す



② 窓から
1m以上離す



※火災報知機との距離(1.5m以上)が取れない場合は、ルーバーを閉鎖することで対応が可能です。ただし、部屋内のイオン濃度は低下します。

④ 照明器具から極力離す
(リモコンが正常に動作しないことがあります)

⑤ エアコンから極力離す
(エアコンの気流の影響を受け、イオン濃度の分布が変わります)

⑥ 換気扇から極力離す
(換気扇の運転時にイオン濃度が低下する場合があります)

※対象エリアが狭い空間で、壁・窓から距離が確保できない場合は、対象エリアの中央付近に設置するようにしてください。

2 据付場所の選定

● 次の場所でご使用になりますと故障の原因になりますので、設置しないでください。

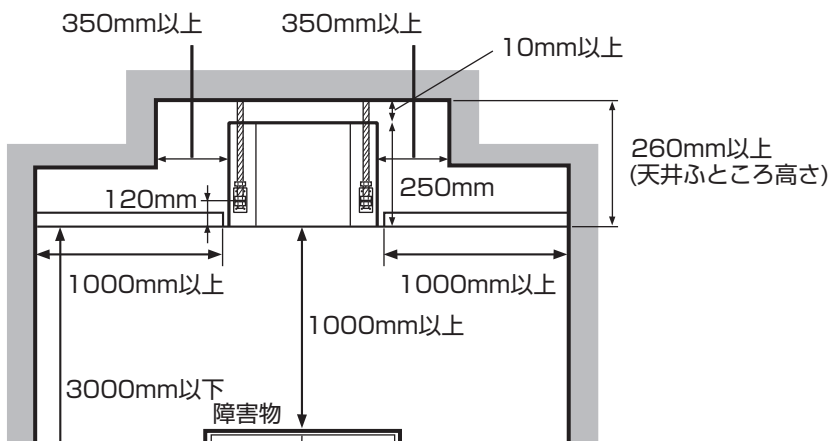
- 直射日光の当たる場所。
- 水がかかったり湯気が当たるなどの場所。
- 食用油など油成分が浮遊している場所。
- 激しい振動のある場所。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所。
- 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリなど、機器に影響する物質の発生する場所。
- フッ素樹脂やシリコンを配合したスプレーや化学薬品を使う場所。
- 据え付け下に、濡れては困るものがある場所。
- 天井下面が傾いている場所。
- ドア、または窓の近くで高湿度の外気と接するおそれのある場所。

※室内と天井内の温度差が大きく高湿度となる場所に設置すると、本体の外表面に結露し滴下することがあります。

下記の項目について、お客様の同意を得て据え付けてください

本体

- 吸込口・吹出口付近に障害物がなく、部屋全体に風がゆきわたるところ
- 据え付け・サービス時の作業スペースが確保できること
- 定期的なフィルター清掃やプラズマクラスターイオン発生ユニットの交換などのメンテナンスができること
- 製品重量に十分に耐える強度のあること
- 天井下面が傾いていないこと
- 高周波を発生する機器や、精密機器がないこと(誤動作や故障の原因になります)
- テレビ・ラジオ・電波時計などからはできるだけ離れたこと(映像の乱れや雑音が生じることがあります)
- 蛍光灯、白熱灯からできるだけ離れたこと(リモコン使用時、電子式瞬間点灯方式(ラピッドスタート方式)、またはインバータ方式の蛍光灯を付けた部屋では、リモコンが正常に動作しないことがあります)
- 運転音や振動が増大しないこと
- 吹出口が火災報知機から1.5m以上離れたこと
- 下図のスペースが確保できること



リモコン

- 見やすいところ
- 幼児の手が届かないところ
- 部屋に蛍光灯が取り付けられている場合には蛍光灯を点灯させ、リモコンが正常に動作するところ(電子式点灯方式の蛍光灯(インバータ蛍光灯など)を付けた部屋では、信号を受け付けられない場合があります)
- 直射日光が当たらないところ
- ストープなどの熱の影響を受けないところ
- 水・油・蒸気が飛散しないところ
- 付近の温度が40℃以上、または0℃以下にならないところ

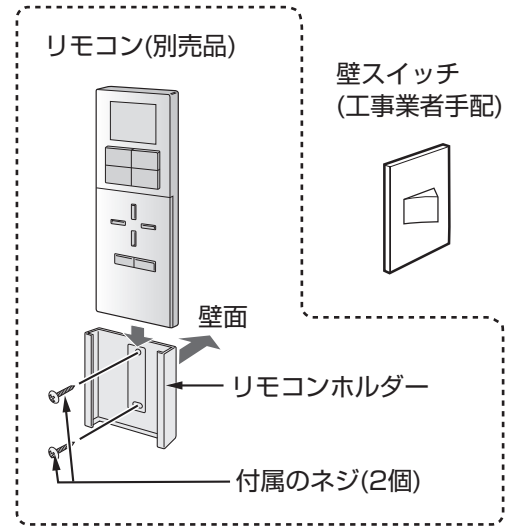
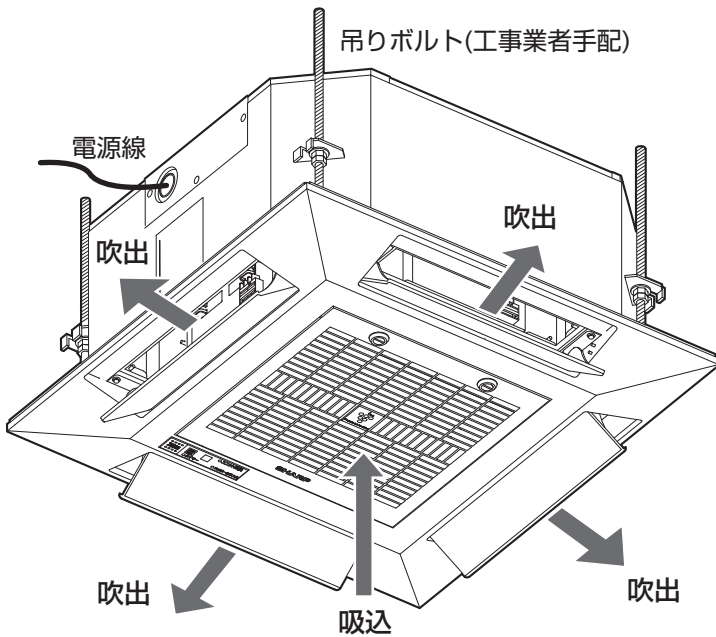
ご注意

- プラズマクラスターイオンの発生音「ジー」音について特に気になる場所への設置は事前に確認する必要があります。
- お部屋の環境により、空気中のちりやほこりがプラズマクラスターイオン発生機による空気循環で天井や壁などに付着することがあります。
- フッ素樹脂やシリコンを配合した化粧品などをプラズマクラスターイオン発生機の近くで使用すると、本体内部にフッ素樹脂やシリコンが付着し、プラズマクラスターイオンが発生しにくくなります。こまめにユニットのお手入れが必要となります。

天吊り時の注意

- 据え付けには吊りボルトを 사용합니다。据え付けようとする場所が製品重量(約26kg)に耐えられるかどうか検討してから吊りボルトを設置してください。
- 床面から天井面までの高さは、3m以内としてください。

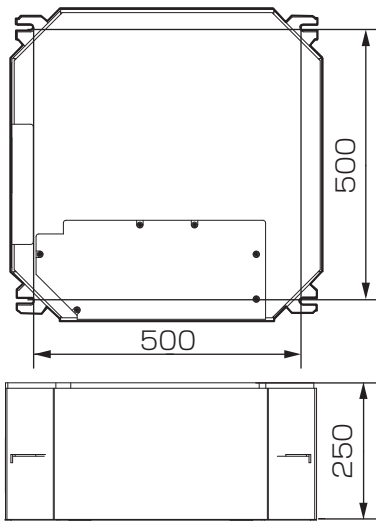
3 据付図



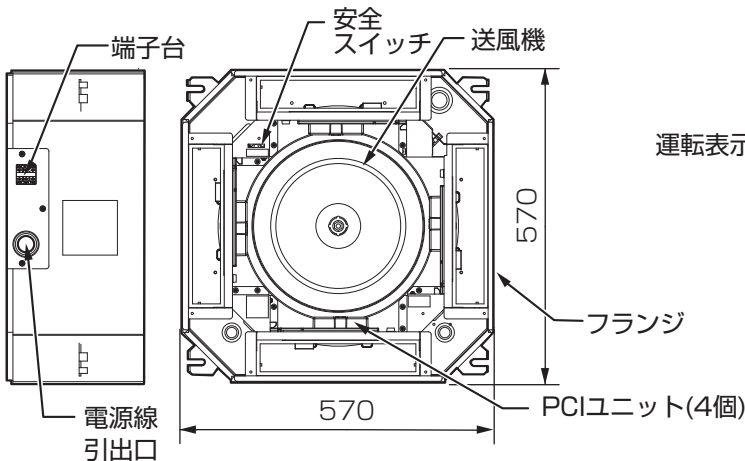
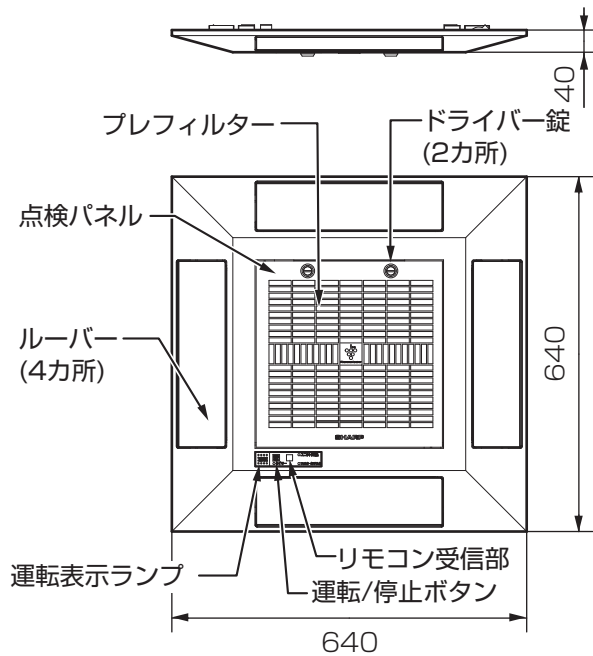
4 製品寸法図

(単位 : mm)

■本体



■化粧パネル

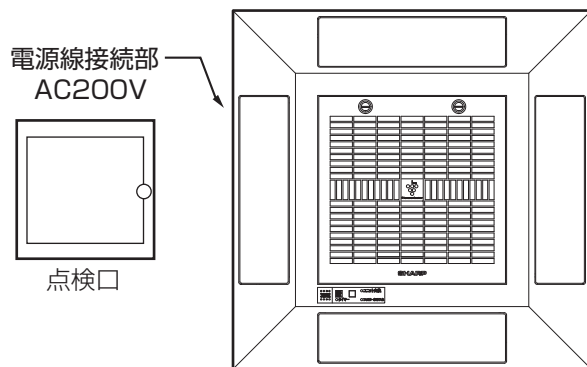
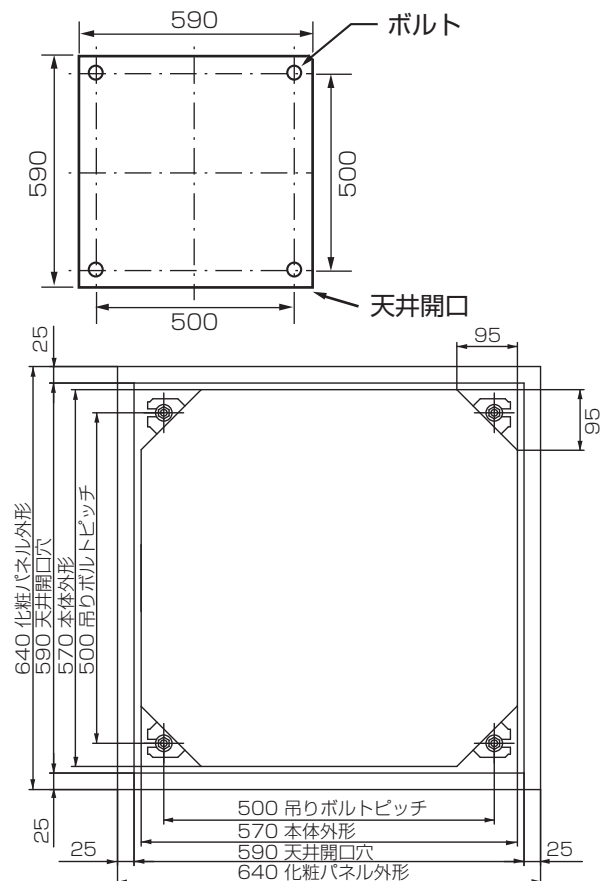


5 据付場所の準備

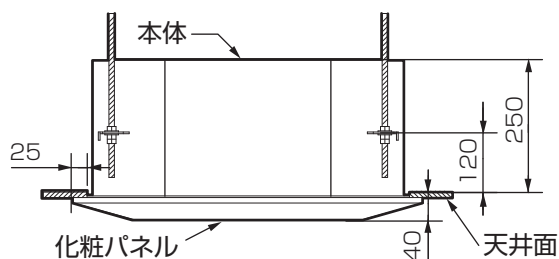
1. 通常天井の場合

天井面に据付用開口穴(590mm×590mm)を開ける。据付型紙は、開口寸法に合わせていますのでご利用ください。

※開口穴を開けた後、天井の水平度を保ち、天井の振動を防ぐため、天井骨組などの補強が必要な場合があります。くわしくは建築・内装業者とご相談ください。

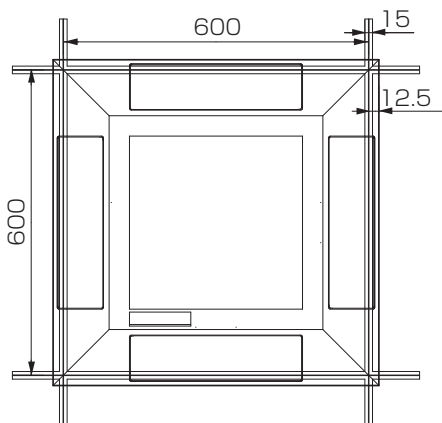


※本体の左側面より電源線を引き出すため、作業スペースがない場合は、点検口を設置する。



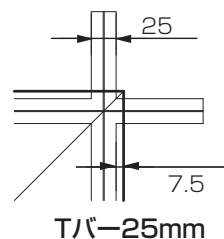
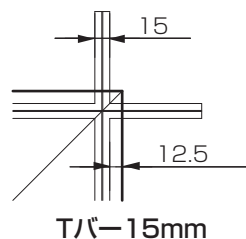
2. グリッドシステム天井の場合

グリッド寸法600mm×600mm、または640mm×640mmに対応しています。



※グリッド寸法600mm×600mmのときに化粧パネルが下記寸法分だけグリッドよりはみ出るため、照明などの干渉にご注意ください。

Tバー15mm幅…はみ出し12.5mm
Tバー25mm幅…はみ出し7.5mm



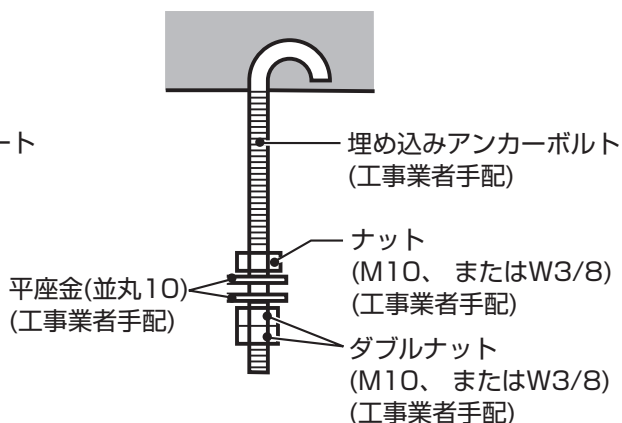
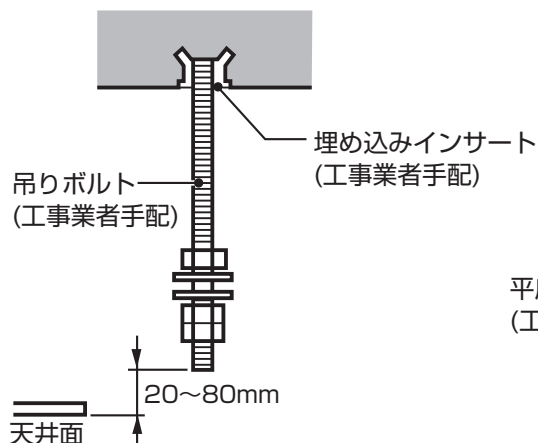
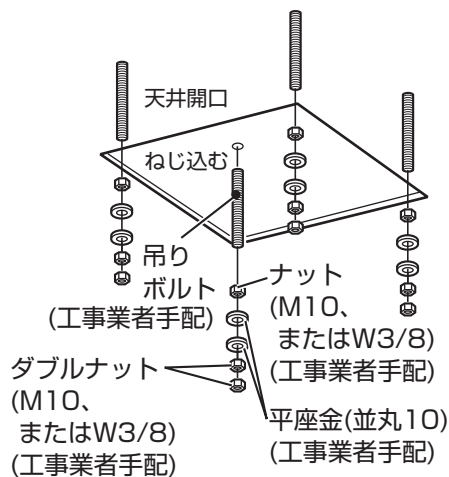
6 吊りボルトの準備

1. 新設コンクリートの場合

- 据付場所の状況に合わせて、埋め込みインサート、または埋め込みアンカーボルトを取り付けてください。
- 吊りボルト・ナット・平座金を図のように取り付けてください。

<据付工事上のご注意>

- 吊りボルト・ナット・平座金は、工事業者手配になっています。
- 吊りボルトは、製品重量(約26kg)に耐えられるように取り付けてください。
- 下側のナットは、必ずダブルナットにしてください。シングルナットにするとナットが緩んで、取り付けた製品が落下するおそれがあります。

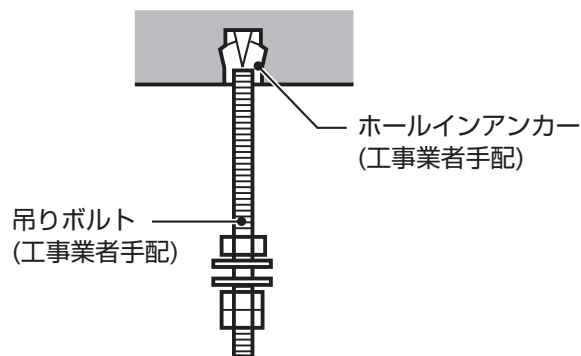


2. 既設コンクリートの場合

ホールインアンカーなどを使用し、吊りボルト・ナット・平座金を図のように取り付けてください。

<据付工事上のご注意>

- 吊りボルト・ナット・平座金は、工事業者手配になっています。
- 吊りボルトは、製品重量(約26kg)に耐えられるように取り付けてください。
- 下側のナットは、必ずダブルナットにしてください。シングルナットにするとナットが緩んで、取り付けた製品が落下するおそれがあります。



7 イオン発生機の据付工事のしかた

■ 据付上の注意事項

- 本製品は精密機器ですので、本体に衝撃を与えないよう取り扱いには十分に注意してください。
- 本体の運搬・施工の際は、本体部分を持っておこなってください。本体のフランジ部(7ページ)をつかんで持ち上げないでください。
- 据付工事は必ず二人以上でおこなってください。
- 本体、および部品の運搬・施工の際は、保護具(軍手など)を着用してください。
- 据付工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および工事説明書に従ってください。
- 据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。
- 据付工事前に、必ず電源を遮断してください。
- 電源は単相200V、電源周波数は50Hz、60Hz共用です。
- アースはD種接地にて実施してください。
- 誤配線は、故障や焼損の原因になります。
- 本体プラス4台まで送り配線が可能です。(合計5台まで)
- 製品に他の荷重をかけないでください。
- 製品の発熱は少ないため、断熱材を被せることは可能です。

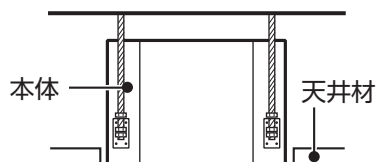
1. 本体の取り付け

1 吊りボルトのナット2個(ダブルナット)をゆるめてください。

2 吊りボルトの2枚の平座金の上に本体吊り金具を差し込み、ナット2個(ダブルナット)を仮締めしてください。

通常天井に取り付ける場合

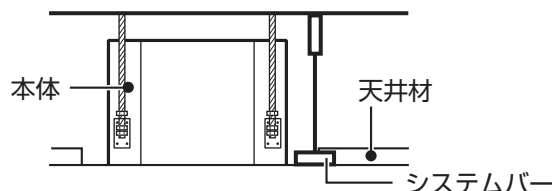
本体の下面と天井材の表面が同じ高さになるように、ナットを調整してください。



本体の下面と天井材の表面を合わせる。

グリッドシステム天井に取り付ける場合

本体の下面とシステムバーが同じ高さになるように、ナットを調整してください。

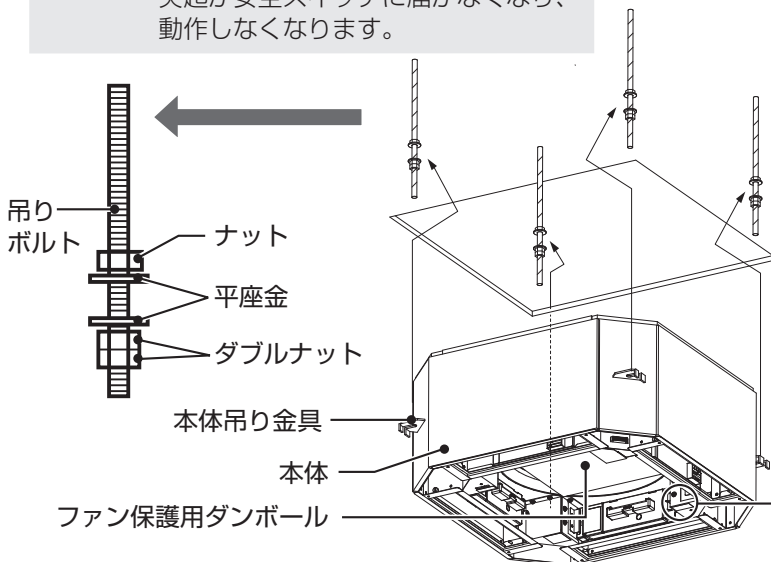


本体の下面とシステムバーを同じ高さに合わせる。

ご注意

- 本体の下面が天井材表面より上に設置されていると、点検パネルの押し込み突起が安全スイッチに届かなくなり、動作しなくなります。

3



- ※ 本体取り付け時にファンに触らないようにダンボールが入っています。本体設置完了するまでダンボールははずさないでください。
- ※ 本体の向きに注意してください。

ご注意

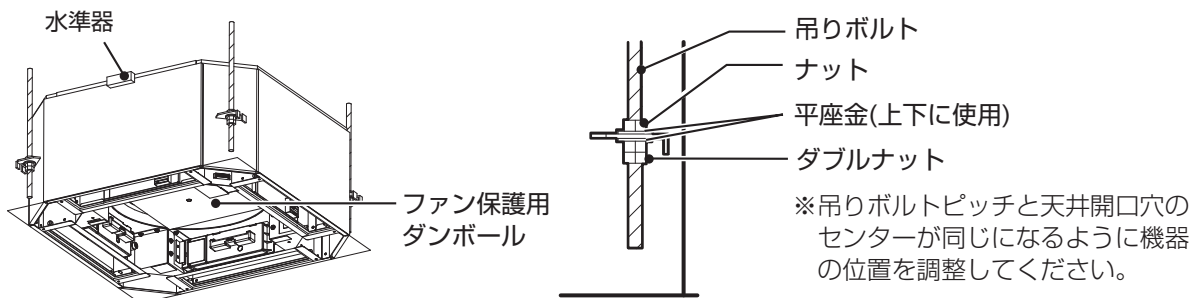
- ファン保護用ダンボールを持ったり、押し上げて本体を持ち上げないでください。ファンの故障の原因となります。

化粧パネルはシールに記載の向きに取り付けられます

1. 本体の取り付け(つづき)

水準器で本体の水平を確認しながら、ナットを締め付けて固定してください。

4



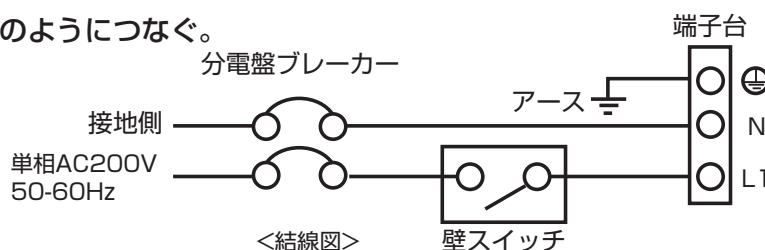
5

本体の設置が完了したら、ファン保護用ダンボールを必ず取りはずしてください。

2. 壁スイッチの接続

壁スイッチ(市販品)の接続を結線図のようにつなぐ。

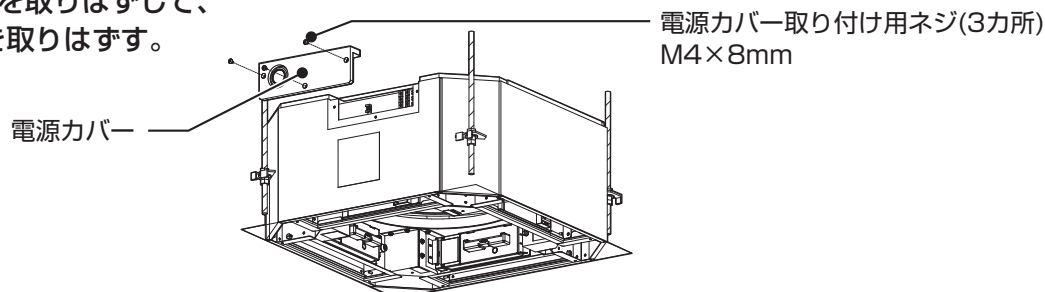
壁スイッチへの接続方法は、壁スイッチに付属の説明書をご覧ください。



3. 電源線の接続

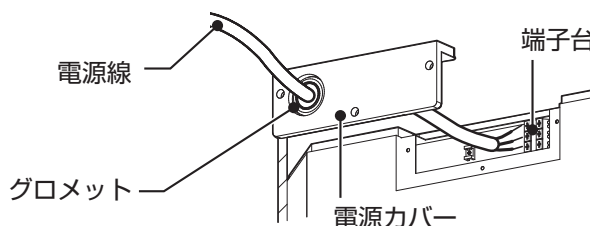
ネジ(3カ所)を取りはずして、電源カバーを取りはずす。

1



電源カバーのグロメットに穴を開け、電源線を通して電源線の接続をおこなう。

2



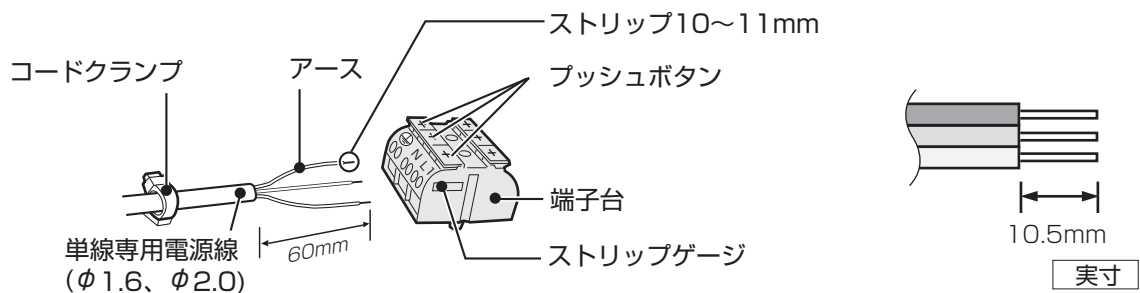
7 イオン発生機の据付工事のしかた (つづき)

3. 電源線の接続(つづき)

端子台の接続方法

- ① 3芯ケーブルの外被をカットし、電源線・アース線をそれぞれ約60mm露出させる。
- ② 電源線・アース線の被覆をそれぞれ、端子台のストリップゲージに合わせて、所定の長さ(10~11mm)にストリップする。(適合電線はφ1.6、またはφ2.0電線です)
下図の寸法記入部分は実寸です。スケールとしてご利用ください。
- ③ プッシュボタンをドライバーなどで強く押しながら、下図に示すように電源線を端子台の挿入面に垂直に奥まで確実に差し込む。(一度引っ張り、接続の確認をします)
※端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まないでください。(感電、火災の原因)
- ④ アース線を用いて、D種接地工事を施す。(不完全な場合には感電の原因)
- ⑤ 送り配線は天井埋込型プラズマクラスターイオン発生機(IG-3B35AX、IG-2B35A)専用です。
追加するイオン発生機は4台まで可能(合計5台まで)
- ⑥ 電源線をコードクランプで固定する。

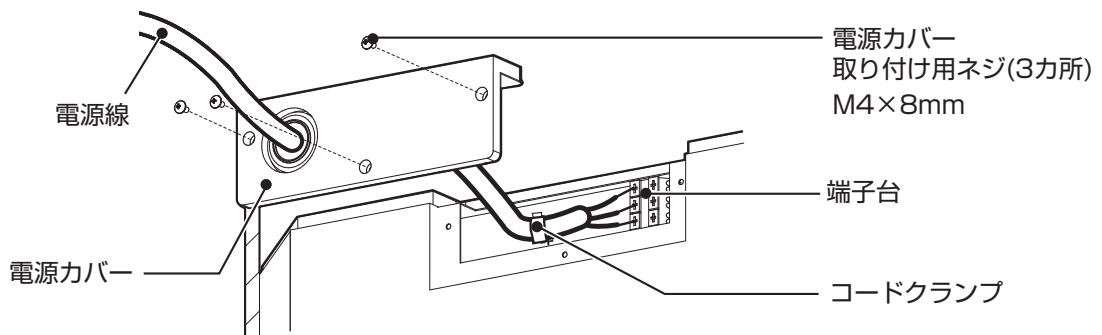
3



※電源は必ずブレーカーを通した单相200V、50-60Hzの電源に接続してください。

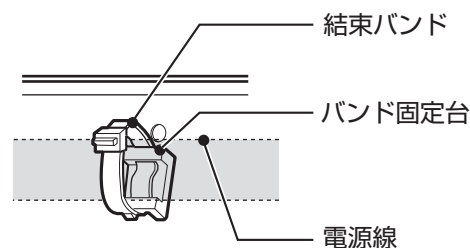
電源カバーを元に戻す(ネジ3カ所)

4



コードクランプの固定のしかた

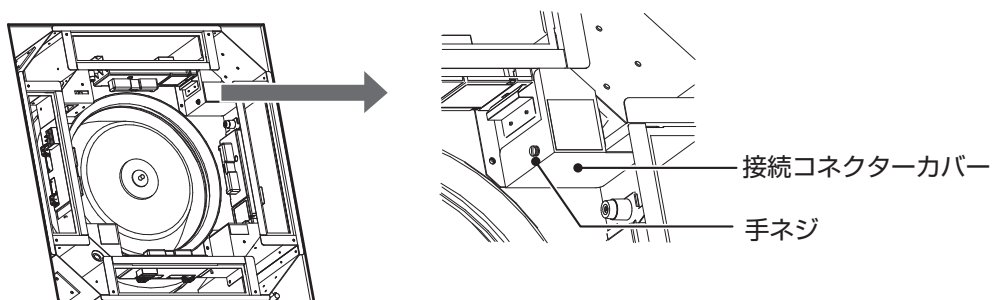
バンド固定台に結束バンド(本体に付属)を通し、電源線を緩みなく固定する。
固定後は結束バンドの余分な部分を切り取る。



4. 化粧パネルの取り付け ※塗装が剥がれないように取り扱い注意

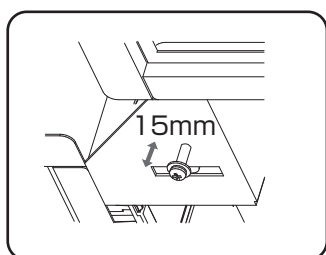
1

マイナスドライバーで手ネジ(1カ所)を取りはずして、接続コネクタカバーを取りはずします。

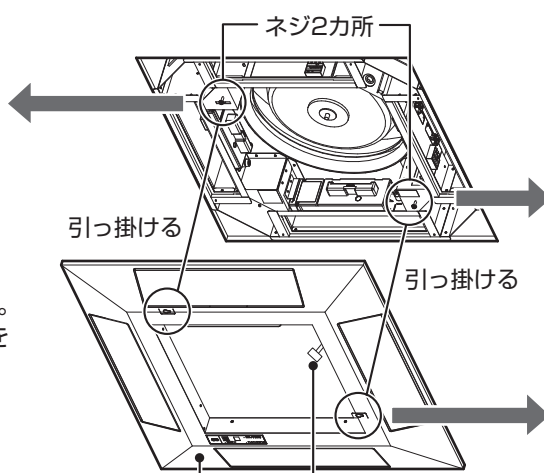


2

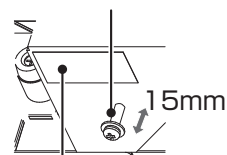
化粧パネルの仮固定用に下記の2カ所にネジを15mm程度浮かせた状態で取り付け、化粧パネルを仮固定します。



- ① ネジ(2カ所)を15mm程度浮かせた状態で取り付ける。
- ② 化粧パネルの〇部(2カ所)を本体のネジ部に引っ掛ける。



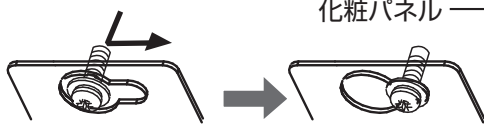
なべ小ネジ
M4×25mm (2カ所)



化粧パネルはシールに記載の向きに取り付けられます。

〇部 (2カ所)

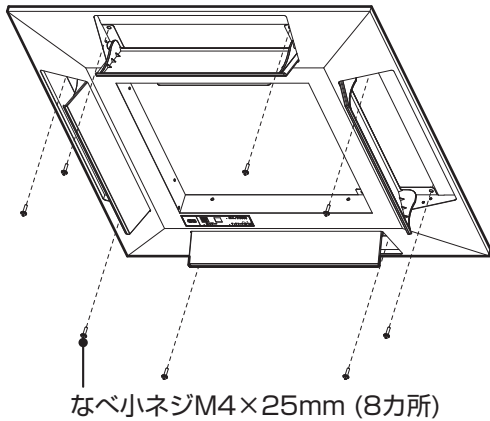
※化粧パネルを引っ掛けた後はネジ(2カ所)を必ず締め付けてください。



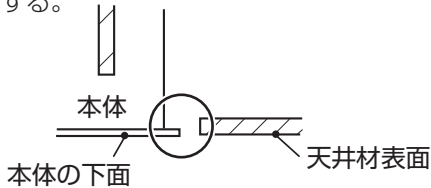
7 イオン発生機の据付工事のしかた (つづき)

4. 化粧パネルの取り付け(つづき) ※塗装が剥がれないように取り扱い注意

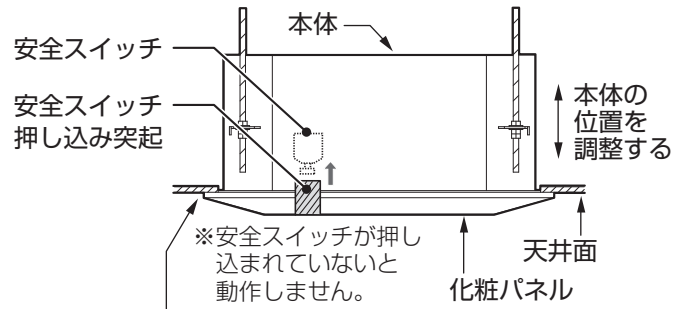
ルーバーを開いて、化粧パネルをネジ(8カ所)で固定します。



製品本体下面と天井材表面が同じ高さになるようにする。



※化粧パネルと天井とのすき間ができる場合化粧パネルをはずし、本体の高さを再調整してください。



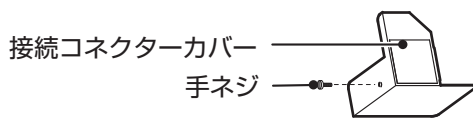
化粧パネルと天井面にすき間がないようにしてください。

ご注意

- 本体を上げすぎると安全スイッチに点検パネルの押し込み突起が届かなくなり、動作しなくなります。本体の位置を下げ、安全スイッチが確実に押し込まれるようにしてください。(18ページ)

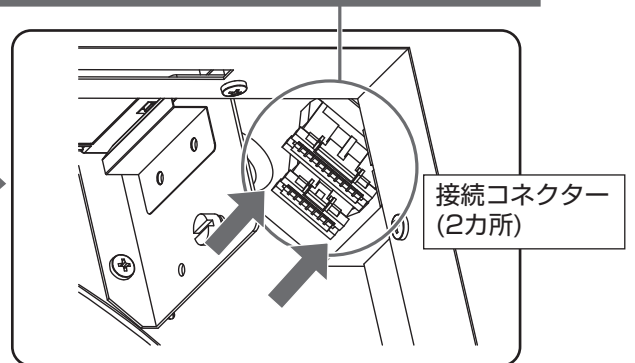
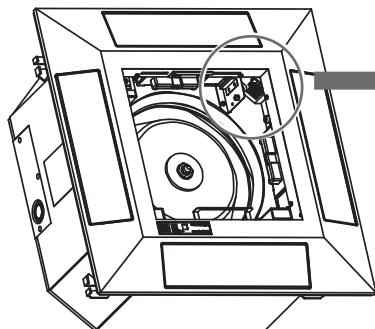
化粧パネルに取り付けているリード線(2本)のコネクターを本体の接続コネクター(2カ所)に確実に接続してください。

マイナスドライバーで手ネジ(1カ所)を締めて、接続コネクターカバーを取り付けてください。



コネクターの両端を手でしっかり、押し込んでください。「カチッ」と音がしても、奥まで挿入されていないことがあるため、再度コネクターを押し込んでください

※マイナスドライバーで確実に締め付けてください。



※接続コネクターカバー取り付け時にリード線が噛み込まないように注意してください。

ご注意

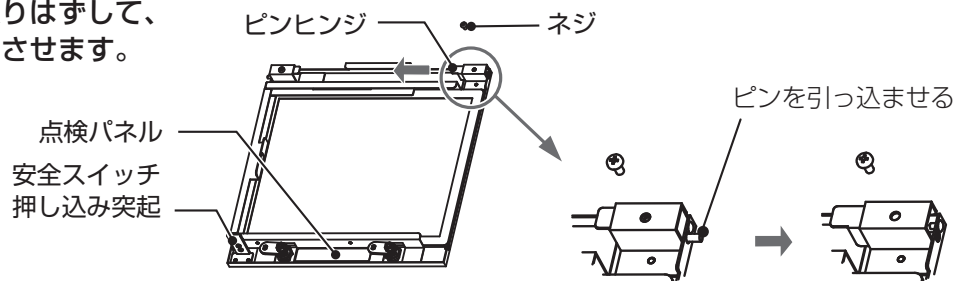
- 確実に接続すること。接続が不完全であると正常に動作しません。(ルーバーが動作しない、LEDが点灯しないなど)

5. 点検パネルの取り付け

※塗装が剥がれないように取り扱い注意

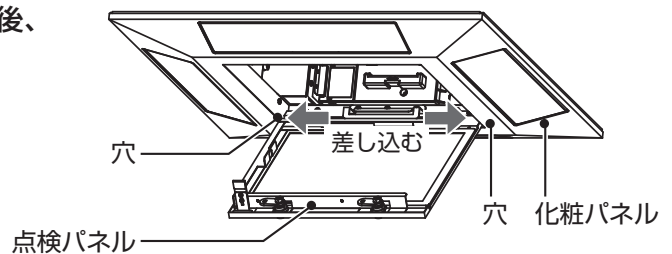
1

点検パネルのネジを取りはずして、ピンヒンジをスライドさせます。



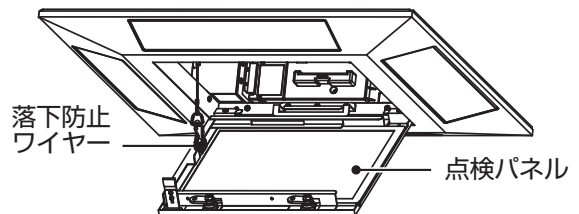
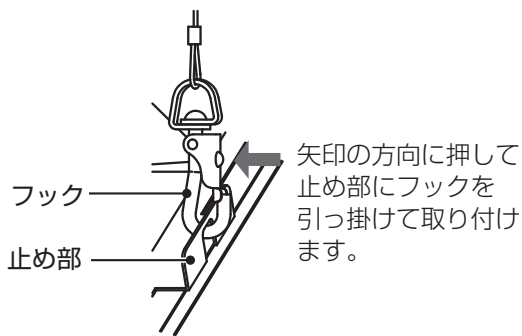
2

点検パネルを穴に合わせて取り付け、スライドさせたピンヒンジを穴に合わせて取り付け、ネジで固定します。



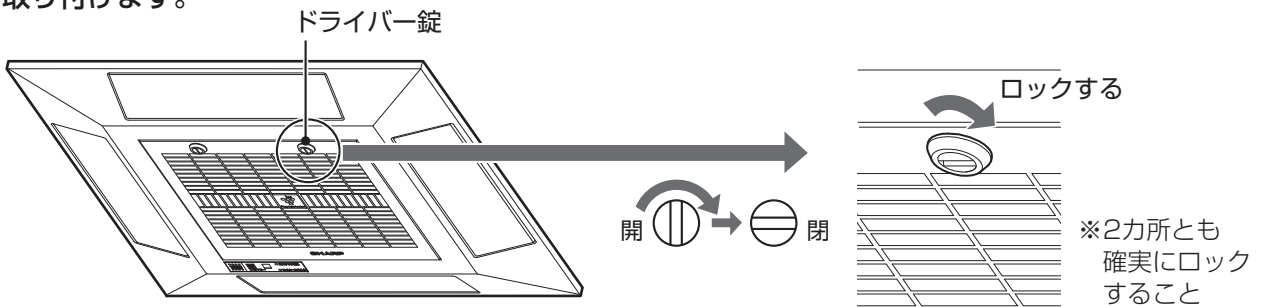
3

落下防止ワイヤーを点検パネルに取り付けます。



4

ドライバー錠をマイナスドライバーなどで2カ所とも、確実にロックして点検パネルを取り付けます。

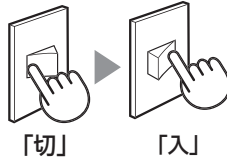


8 試運転

壁スイッチを「入」にすると、前回の運転モードで運転します

1

電源(分電盤ブレーカー)を入れてください。

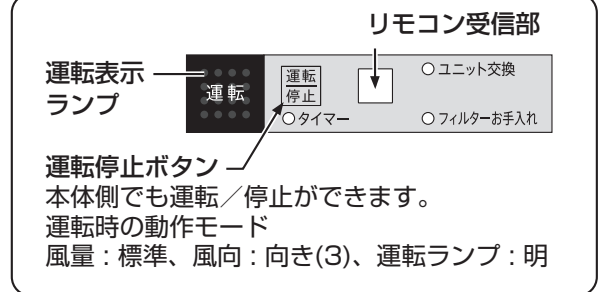
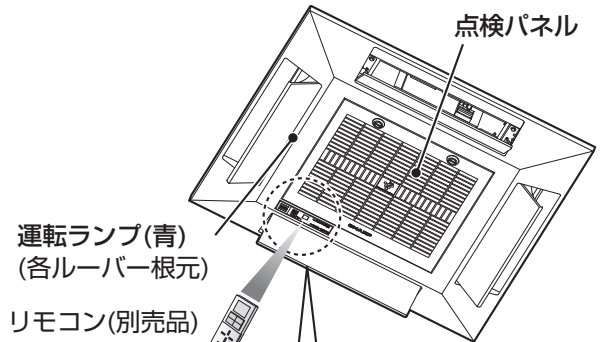


2

壁スイッチが設置されている場合は壁スイッチを「入」にします。

3

リモコン(別売品)を本体(リモコン受信部)に向けて「運転ボタン」を押して作動させます。「風量弱ボタン」もしくは「風量強ボタン」を押して「フルパワー」、「標準」、「弱」の各運転モードで動作させ、その運転状態を確認してください。「風向上ボタン」もしくは「風向下ボタン」を押して風向が切り換わることを確認してください。「急速浄化ボタン」を押して、急速モードに切り換わることを確認してください。「運転ランプ」ボタンを押して、各ルーバー根元にある運転ランプの明るさ(明/暗/切)が切り換わることを確認してください。



4

異常な振動・騒音が無いことを確認してください。

7

リモコン(別売品)で停止して、ルーバーが完全に閉じていることを確認してください。壁スイッチが設置されている場合は、壁スイッチを「切」にします。

5

点検パネルを開いて、本体が停止することを確認してください。(安全スイッチの動作確認です)

8

電源(分電盤ブレーカー)を切ってください。

6

点検パネルを閉めてください。
※しばらくしてから動作を開始します。

運転モードを「急速浄化」に切り換えます。

運転を停止します。

風向を上向きにします。

風量を強くします。
「弱」→「標準」→「フルパワー」

風量を弱くします。
「フルパワー」→「標準」→「弱」

風向を下向きにします。

各ルーバー根元にある運転ランプの明るさを切り換えます。
→「明」→「暗」→「切」



運転を開始します。

切タイマーを設定します。

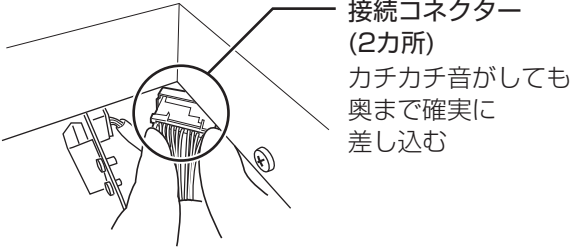
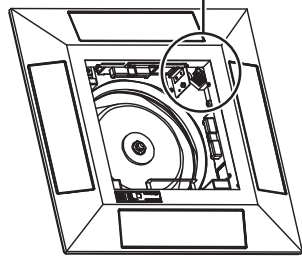
ご注意

- 電子瞬時点灯方式(ラピッドスタート方式)またはインバータ方式の蛍光灯の近くに製品を設置しますと、リモコンの信号を受け付けないことがあります。(電子瞬時点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯はグローランプがありません)
- 蛍光灯が切れそうな状態(点滅など)になるとリモコンの信号を受け付けないことがありますので、そのときは蛍光灯を交換してください。

9 チェックシート

工事完了後のご確認

工事完了後、下記項目についてチェックをお願いいたします。

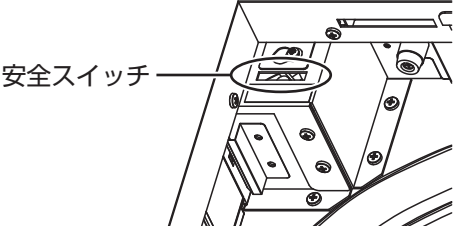

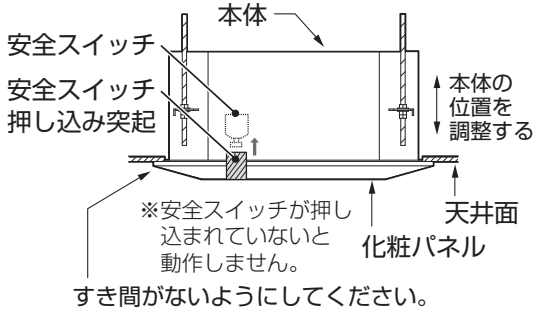
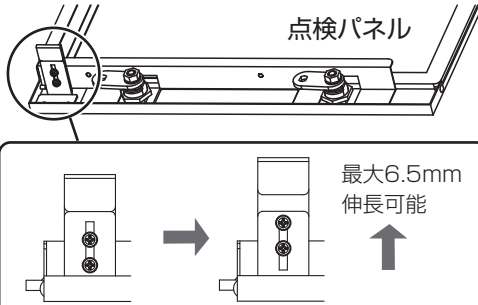
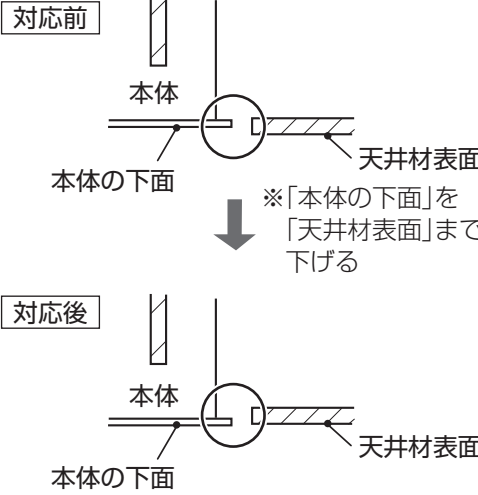
	チェック項目	詳細	チェック欄
1	単相AC200Vの配線になっていますか？	—	
2	端子台に電源線2本とアース線は接続されていますか？	電源線2本が確実に接続されているか、また、アース線が端子台の正しい位置に接続されているか確認してください。 (計3本が端子台に接続)	
3	化粧パネルから出ているコネクター(2本)が両方とも本体に接続されていますか？  <p>※作業時にけがをするおそれがあるので、手袋をして作業をおこなってください。</p>	コネクターを奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全の場合、製品が正常動作しません。 接続コネクター部 	
4	化粧パネルがネジで固定されていますか？	付属のネジ (M4×25) 10本で固定されているか確認してください。	
5	落下防止ワイヤーが点検パネルに取り付けられていますか？	—	
6	点検パネルのドライバー錠が閉まっていますか？	ドライバー錠が2カ所とも閉まっているか確認してください。	
7	外観は汚れていませんか？	化粧パネル、ルーバー、点検パネルに汚れが付着していないか確認してください。汚れている場合は清掃してください。	
8	リモコン操作できますか？	リモコン(別売品)の「運転」ボタンを押して運転できるか、「停止」ボタンを押して停止できるか確認してください。 (運転前に、ブレーカや壁スイッチがONされているか確認してください)	
9	化粧パネル表示部のボタンで操作できますか？	化粧パネル表示部の「運転停止ボタン」を押して、運転と停止ができるか確認してください。	
10	異音がしていませんか？	製品が動作中に異音が生じていないか確認してください。「ジー」という音はプラスマクラスターイオンが発生するときの音で、異常ではありません)	
11	安全スイッチは確実に押しこまれていますか？	点検パネルを軽くたたいて、電源が切れたり運転表示ランプが一瞬消えたりしないか確認してください。	
上記チェック項目8～11で製品が動作しない場合、再度上記チェック項目3に戻り、コネクターを差し直してください。			

以上のチェック項目を実施しても製品が動作しない場合は、18ページに記載の内容を実施してください。

9 チェックシート (つづき)

工事完了後のご確認(つづき)

チェック項目1~11を実施して動作しない場合の確認と対応方法について。

チェック項目	対応方法	チェック欄
<p>マイナスイドライバーなどで安全スイッチを押した状態で約10秒後に表示パネル部の「運転停止ボタン」を押して(安全スイッチは押したまま)、製品が動作するか確認してください。</p>  <p>安全スイッチ</p> <p>表示パネル部</p>  <p>運転表示ランプ</p> <p>運転停止ボタン</p> <p>当製品には、点検パネルを開けたときに動作停止となるように安全スイッチが取り付けられています。製品本体が天井材表面より上に設置されると、点検パネルの押し込み突起が安全スイッチに届かず、安全スイッチが解除されないために、製品が動作しない状態となります。</p>  <p>安全スイッチ</p> <p>安全スイッチ押し込み突起</p> <p>※安全スイッチが押し込まれていないと動作しません。</p> <p>すき間がないようにしてください。</p> <p>動作した場合、本体が天井面より奥に設置されていて、点検パネルの押し込み突起が安全スイッチに届いていないので、右記の対応方法で対処してください。</p>	<p>点検パネルの押し込み突起の高さを変えて、安全スイッチを確実に押し込むように、高さを調節してください。</p>  <p>点検パネル</p> <p>最大6.5mm 伸長可能</p> <p>※押し込み突起のネジ(2カ所)をゆるめて、安全スイッチを確実に押し込む高さに調整してください。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 押し込み突起の高さが高すぎると点検パネルのドライバー錠がロックできなくなります。再度、高さを調整し、点検パネルが確実に取り付けられるようにしてください。 <p>上記対応で動作しない場合は、製品本体下面と天井材表面が同じ高さになるよう、本体の高さを下げてください。</p>  <p>対応前</p> <p>対応後</p> <p>※「本体の下面」を「天井材表面」まで下げる</p>	

※その他に動作上の不具合が生じた場合は、取扱説明書の「故障かな？」の項目をご確認ください。

断熱材の貼り付けかた (詳細は別紙参照)

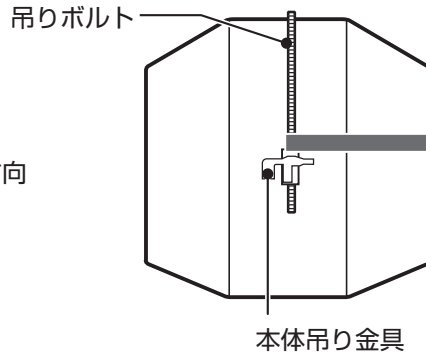
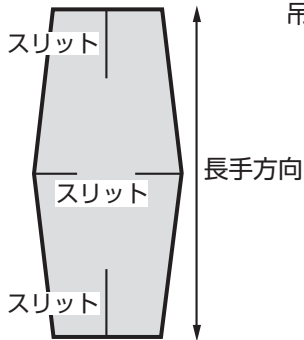
吊り金具部の結露防止のため、同梱している断熱材を本体の吊り金具部(4カ所)へ貼り付けてください。

ご注意

- 化粧パネルを本体に仮固定し、動作や設置状態に問題がないことを確認の上で、断熱材の貼り付けをおこなってください。断熱材を貼り付けると本体の位置調整ができなくなります。

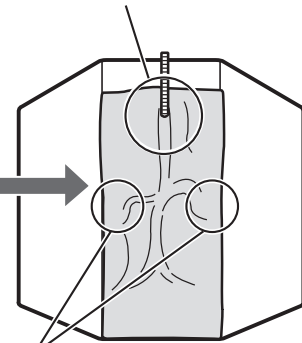
部品名	寸法[mm]	数量	取付箇所	備考
ダンネツザイク	240×160×3	4	本体の吊り金具部	断熱材：ポリエチレンフォーム

断熱材(同梱)の図



断熱材の取付完成図

※断熱材が吊りボルトの奥側まで入り込みます。



※吊りボルト部、およびスリット部は必ずすき間ができないように、貼り付けてください。

ご注意

- 貼り付ける断熱材と、製品との間にすき間ができないように貼り付けてください。
- 断熱材を破らないように貼り付けてください。

据付後の注意事項

こんなとき	お調べください	参照ページ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●点検パネルの押し込み突起が安全スイッチを押していますか？ ⇒本体の設置位置を調整してください。 ●化粧パネルと本体がコネクター接続されていますか？ ⇒コネクター(2本)を接続してください。 ●電源線が端子台に接続されていますか？ ⇒電源線の接続をおこなってください。 	11, 14 14 11, 12
一部ルーバーが動作しない LEDが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●化粧パネルと本体のコネクター接続が奥まで挿入されていますか？ ⇒コネクター(2本)をしっかり奥まで差し込んでください。 ●リモコンでルーバー閉の設定にしていますか？ ⇒ルーバー開閉ボタンでルーバーを開いてください。 	14 取扱説明書 10

10 引き渡し

お客様に引き渡す際の説明について

お客様に引き渡す際には、下記のことを必ず説明してください。

1. 同梱されている取扱説明書で、お客様に操作方法と安全上のご注意を説明してください。
2. 長時間使用しないときは、元電源を切るように説明してください。
3. 使用前にもう一度、取扱説明書を読んでいただくように説明してください。
4. 取扱説明書を、いつでも見られるところに大切に保存するように説明してください。

お問い合わせ先



メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】


シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>




使用方法のご相談など
【お客様相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
 **0120-078-178**

携帯電話からは、ナビダイヤル
 **0570-550-449**



修理のご相談など
【修理相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
 **0120-02-4649**

携帯電話からは、ナビダイヤル
 **0570-550-447**

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、取扱説明書19ページをご覧ください。

シャープ株式会社

本

社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

PCI・LED照明事業推進本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号